

霧島市の家計簿

財政事情を公表します



皆 さんは給料などの入ってくるお金と、食費・光熱水費・教育費などの出ていくお金を計算しながら家計をやりくりしていると思います。

霧島市でも同じように、1年間にいくらかお金が入ってくるか(歳入)と、どの仕事にいくらかお金を使うか(歳出)を見積もり、計画を立てて運営しています。このようなお金の計画を見積もったものを「予算」、予算に基づいてやりくりした結果を「決算」といいます。

市の仕事は多岐にわたります。お金の出し入れを明確にするためには財布を分けて管理する必要がありますが、それぞれの財布を「会計」と呼びます。会計には、福祉・教育・道路整備など行政運営に必要な基本的な経費を計上する「一般会計」と、特定の収入を元に特定の事業をするための「特別会計」、さらに地方公営企業法を適用する「企業会計」があります。これらの会計の決算を見ると、市の「会計(財政)事情」が分かります。

そのため、市では条例に基づき毎年11月、前年度決算と現年度の財政事情を公表しています。

霧

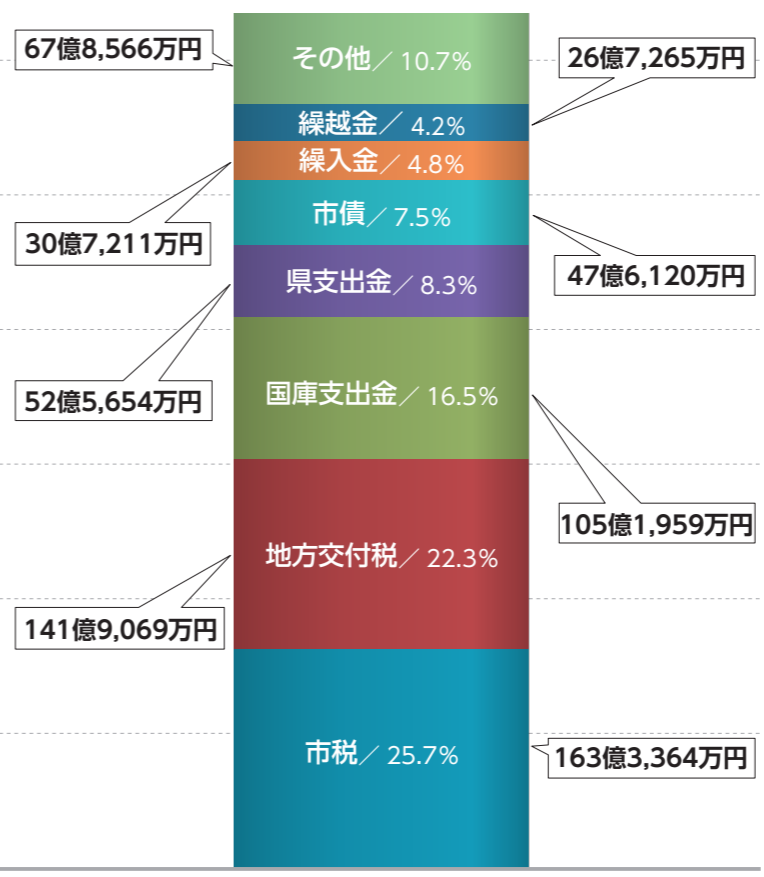
島市の令和元年度の一般会計の決算は、歳入が前年度に対して7.6%増の総額635億9,208万円、歳出が前年度に対して8.0%増の総額609億5,940万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は26億3,268万円の黒字、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支決算(剰余)は19億6,386万円の黒字となりました。

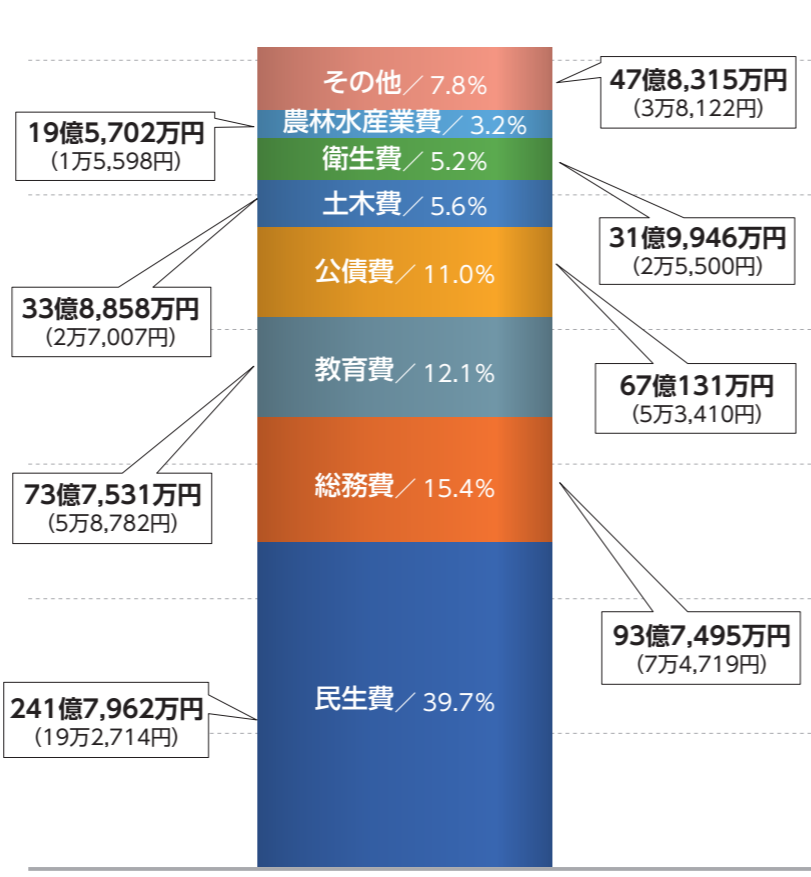
決算剰余金は法令に基づき、翌年度以降に積み立てなどを行うほか、各種事業の財源として活用します。

一般会計で管理する財産には土地・建物の他、貯金に当たる「基金」があります。年度間の財源調整や特定の目的のための資金として積み立てています。

年度間の財源調整には、借金である「市債」を発行する方法もあります。長期間利用する施設建設のため、次世代にも費用を負担してもらうような場合に有効な手段で、後の返済が大きな負担とならないよう計画的な発行に努めており、近年は残高が減少しています。



令和元年度 一般会計の決算



()内は市民一人当たりの金額

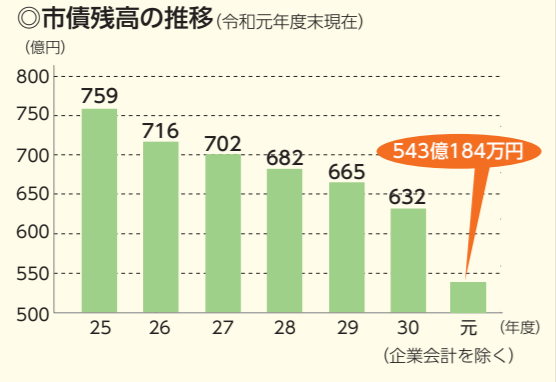
市民一人当たりに使ったお金は
 歳出決算額 令和2年1月1日現在の人口
 609億5,940万円 ÷ 125,469人
 = **48万5,852円** でした。



◎財産の状況(令和2年3月31日現在)

区分	現在高
土地	3,674ha
(うち市有林)	(2,019ha)
建物	905,375㎡
計	242億4,355万円
基金	
内	
財政調整基金	80億4,956万円
減債基金	18億9,238万円
特定建設事業基金	35億4,696万円
その他の基金	107億5,465万円
有価証券	2億4,150万円

(企業会計を除く)



- 用語説明**
- 民生費** 高齢者や障がい者、児童の福祉推進などに使われたお金
 - 総務費** 総務人事管理、財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに使われたお金
 - 教育費** 公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われたお金
 - 公債費** これまでに公共事業などの財源として借り入れた借金(市債)の返済に使われたお金
 - 土木費** 道路や公園、公営住宅などの整備に使われたお金
 - 衛生費** ごみ、し尿の処理や健康増進事業などに使われたお金
 - 農林水産業費** 農業、林業、畜産業、水産業などの振興に使われたお金
 - その他** 消防費、災害復旧費、議会費、労働費、商工費、公営企業会計への支出に使われたお金

- 用語説明**
- 市税** 市民税や固定資産税など市に納められた税金
 - 地方交付税** 地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から自治体に配分された税金
 - 国庫支出金** 市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金
 - 県支出金** 市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金
 - 市債** 市が行う公共事業などの財源として、財政負担の平準化と世代間の負担の公平化などを図るため、国などから借りたお金
 - 繰入金** 基金(市の貯金)や特別会計などから繰り入れられたお金
 - 繰越金** 前年度から繰り越されたお金
 - その他** 地方消費税交付金、使用料及び手数料、諸収入、地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金として納められたお金など

令和2年度上半期(9月30日現在)の財政状況

ここでは今年度上半期の財政状況を紹介します。
一般会計予算現額823億3,212万円に対し、収入率が51.8%、執行率が44.3%となっています。

◎一般会計(歳入)

	予算現額	収入済額	予算構成比	収入率
国庫支出金	260億6,705万円	164億6,764万円	31.7%	63.2%
市 税	158億9,222万円	95億 869万円	19.3%	59.8%
地方交付税	128億5,000万円	97億7,357万円	15.6%	76.1%
市 債	71億2,310万円	0円	8.6%	0.0%
県支出金	68億2,568万円	5億2,827万円	8.3%	7.7%
繰入金	52億5,073万円	7億 円	6.4%	13.3%
地方消費税交付金	26億5,000万円	15億4,681万円	3.2%	58.4%
その他	56億7,334万円	41億5,546万円	6.9%	73.2%
歳入合計	823億3,212万円	426億8,044万円	100.0%	51.8%

◎一般会計(歳出)

	予算現額	支出済額	予算構成比	執行率
民生費	261億1,108万円	95億9,342万円	31.7%	36.7%
総務費	213億7,885万円	152億7,468万円	26.0%	71.4%
教育費	92億7,832万円	24億4,242万円	11.3%	26.3%
公債費	69億 381万円	34億5,247万円	8.4%	50.0%
土木費	55億7,107万円	14億5,380万円	6.8%	26.1%
衛生費	36億5,196万円	10億8,129万円	4.4%	29.6%
商工費	24億7,680万円	10億7,134万円	3.0%	43.3%
その他	69億6,023万円	21億1,666万円	8.4%	30.4%
歳出合計	823億3,212万円	364億8,608万円	100.0%	44.3%

◎特別会計

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	154億 478万円	61億2,057万円	39.7%	54億8,423万円	35.6%
後期高齢者医療	15億5,048万円	4億6,583万円	30.0%	4億6,536万円	30.0%
介護保険	117億6,241万円	47億7,254万円	40.6%	45億5,592万円	38.7%
交通災害共済事業	1,614万円	1,487万円	92.1%	200万円	12.4%
温泉供給	7,070万円	3,320万円	47.0%	2,586万円	36.6%

◎財産と市債の状況 (企業会計を除く)

区分	現在高	一人当たり現在高
土地(うち市有林)	3,671ha (2,019ha)	0.029ha (0.016ha)
建物	904,301㎡	7㎡
基金	259億1,172万円	207,490円
内訳		
積立基金	223億6,228万円	179,067円
その他の基金	35億4,944万円	28,423円
有価証券	2億4,150万円	1,934円
市債	510億 313万円	408,411円

※一人当たり現在高は、同日現在の住民基本台帳人口124,882人で除して算出したものです。

◎企業会計

会計名	収益的収入・支出				資本的収入・支出				
	収入	収入率	支出	執行率	収入	収入率	支出	執行率	
水道事業	予算額	23億7,892万円	38.5%	20億2,855万円	16.8%	414万円	-	20億1,356万円	19.8%
	収入済額または執行済額	9億1,691万円		3億4,179万円		0万円		3億9,919万円	
工業用水道事業	予算額	2,627万円	12.2%	2,627万円	6.2%	1,100万円	-	1,364万円	4.0%
	収入済額または執行済額	320万円		163万円		0万円		54万円	
下水道事業	予算額	11億8,257万円	49.7%	11億2,825万円	14.5%	6億4,911万円	5.2%	9億1,587万円	40.9%
	収入済額または執行済額	5億8,779万円		1億6,381万円		3,369万円		3億7,497万円	
病院事業	予算額	62億2,258万円	43.0%	61億8,497万円	41.5%	3,860万円	-	5億5,438万円	14.8%
	収入済額または執行済額	26億7,572万円		25億6,372万円		0万円		8,208万円	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。



◎問 財政課 ☎(64)0917

霧 島市では、年度ごとの「ま
ちの家計」の収支を保ち
ながら、将来にわたり持続的な
財政運営ができるよう取り組ん
できました。
今後に限られた財源を有効活
用するために、既にある事業の
効果や効率性などを常に検証し
た上で、内容の見直しを図り、
節減・合理化の取り組みを進め
ます。
これからも市民の皆さんが安
心して暮らすことができるよう、
身の丈に合った健全な財政運営
に努めていきます。

◎特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	150億4,414万円	147億2,794万円	3億1,620万円
後期高齢者医療	13億7,825万円	13億7,212万円	613万円
介護保険	112億9,704万円	110億1,711万円	2億7,993万円
交通災害共済事業	2,248万円	1,126万円	1,122万円
温泉供給	7,115万円	6,704万円	411万円
計	278億1,306万円	271億9,547万円	6億1,759万円

◎企業会計

会計名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	23億9,196万円	17億8,701万円	531万円	10億8,825万円
工業用水道事業	2,471万円	2,243万円	2,353万円	2,761万円
下水道事業	14億2,327万円	12億6,773万円	8億3,929万円	13億2,936万円
病院事業	58億1,329万円	57億2,574万円	0円	3億3,278万円
計	96億5,323万円	88億 291万円	8億6,813万円	27億7,800万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

用語説明 収益的収入・支出/企業の経営活動に伴って発生する収益と費用(料金収入、人件費など)
資本的収入・支出/将来の経営活動に備えて行う建設改良などに関する費用とその財源となる収入

霧 島市には、五つの特別会
計と四つの公営企業会計
があります。このうち下水道事
業会計は、令和元年度に特別会
計から地方公営企業法を適用す

る企業会計に移しました。
「市」のお金が足りていない
か」など、市の財政が健全かど
うかを判断する物差しとして、
各種指標(下表)があります。
例えば、削減が難しい義務的
経費など経常的な支出(固定的
に支出されるお金)が、市税な
ど経常的な収入(安定的に確保
できる見込みのお金)に占める
割合を示す「経常収支比率」は、
前年度に対して1・5ポイント
上昇しており、歳出の自由度が
減ったといえます。
国が法で定めている「健全化
判断比率」関係では、財政規模
に占める借入金返済額の割合を
示す「実質公債費比率」が前年
度に対して0・6ポイント改善
し、6・7%となりました。一
般会計と企業会計を含む全会計
の実質赤字額に関する比率や、
将来の実質的な財政負担の大き
さを示す比率はいずれも、国が
健全化を促す基準を下回ってお
り、本市はおおむね健全な財政
運営であるといえます。

用語説明

- 1 財政力指数** 地方交付税法に基づき算出した支出に対する収入の割合を指標化したもの(3年間の平均値)。一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされる。
- 2 経常収支比率** 義務的経費など、削減が難しい経費がどの程度あるか指標化したもの。比率が低いほど、お金の使い道に自由度があるとされる。
- 3 実質赤字比率** 一般会計などの財政規模に対する実質赤字額の比率。(早期健全化基準:11.65%)
- 4 連結実質赤字比率** 全会計を対象とした財政規模に対する実質赤字額が資金の不足額の比率。(早期健全化基準:16.65%)
- 5 実質公債費比率** 財政規模に対する借入金返済額などの比率(3年間の平均値)。(早期健全化基準:25%)
- 6 将来負担比率** 一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高が財政規模に占める比率。(早期健全化基準:350%)
- 7 資金不足比率** 公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率(霧島市の公営企業会計:水道事業、工業用水道事業、病院事業、下水道事業、温泉供給)。(経営健全化基準:20%)

◎主な指数など(決算統計、健全化法)

指数など	令和元年度	平成30年度
1 財政力指数	0.56	0.55
2 経常収支比率	92.0%	90.5%
3 実質赤字比率	-	-
4 連結実質赤字比率	-	-
5 実質公債費比率	6.7%	7.3%
6 将来負担比率	-	-
7 資金不足比率	-	-

※「-」の表記は、赤字額、将来負担比率、資金不足額がないため、記載すべき比率がないことを表します。

